

令和元年度事業報告書

公益財団法人日本チャリティ協会

目次

I	公益事業関係	2
1	障害者関係事業	2
	(1) 第34回東京都障害者総合美術展	2
	(2) 東京都障害者休養ホーム事業	3
	(3) 第39回「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル	4
	(4) 第36回障害者のためのふれあいコンサート	4
	(5) 第34期パラアートスクール（障害者のカルチャースクール）	5
	(6) パラアート国際交流事業	6
	(7) 明治神宮例祭奉祝「奉納第78回全日本力士選士権大会」への招待事業	7
2	高齢者関係事業	7
	(1) 第21回クプナ・フラ・フェスティバル	8
	(2) 第24回シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル	8
	(3) 高齢者のはつらつカラオケコンクール	9
II	共催・後援・協力事業	9
	(1) 第53回スポーツの集い	9
	(2) 第56回東京都老人クラブ芸能大会	10
III	東京都福祉サービス第三者評価	11
IV	法人の運営	11
1	理事会・評議員会等	11
2	後援会等	12

I 公益事業関係

1 障害者関係事業

(1) 第34回東京都障害者総合美術展

障害者が日頃からの研鑽を積み重ねて創作した作品を発表する機会を通じて、障害者が持つ芸術文化的能力を広く社会に披露し、その能力を基にした自立と社会参加を促進することを目的に、毎年開催している。

主 催：東京都

主 管：日本チャリティ協会

期 日：令和元年7月26日（金）から7月31日（火）まで（6日間開催）
（審査会：7月24日（水）於：東京都社会福祉保健医療研修センター）

時 間：午前10時から午後9時まで（日曜日は午後8時まで、最終日は午後4時閉会）

場 所：西武池袋本店7階特設会場

内 容：

募集方法：公募（都内在住の障害者）

募集内容：絵画・造形・書・写真

表彰：東京都知事賞（最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作5点、奨励賞5点、
努力賞5点）、日本チャリティ協会会長賞1点、審査員特別賞1点
計20点

応募点数：絵画402点・造形78点・書98点・写真42点 計620点
（前年度 計697点）

入選展示数：200点（前年度200点）

審査員：建畠哲、友永詔三、堀吉光、板見浩史、島倉晋弥、高木金次

表彰式：令和元年7月26日（金）9時40分 展示会場内

高円宮妃殿下

小池 百合子 東京都知事

栗林 のり子 東京都議会厚生委員会委員長

久保田 俊樹 そごう・西武池袋本店 本店長

高木 金次 日本チャリティ協会会長

建畠 哲 障害者総合美術展審査員長

来場者：2,732名（前年度2,558名）

(2) 東京都障害者休養ホーム事業

障害者(児)が、家族や仲間とくつろぐことができる東京都指定の保養施設を利用したとき、その宿泊利用料の一部を助成し、障害者及び介助者の豊かで生きがいのある生活を実現することを目的にした制度で、東京都からの委託を受けて利用助成金の清算業務等を実施した。

主 管：東京都

管 理：日本チャリティ協会

受託期間：平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月まで

利用対象：都内在住の障害者及び付添者

受託内容：休養ホーム利用申込、相談及び施設利用料助成金精算業務

年間利用者

区分		令和元年度	30 年度	29 年度
利用件数		2,076 件	2,596 件	2,674 件
利用者数		14,535 名	18,024 名	19,090 名
内 訳	身体障害	5,209 名	6,763 名	7,406 名
	知的障害	8,068 名	9,605 名	10,093 名
	精神障害	1,258 名	1,656 名	1,591 名

指定施設：(数字) は都指定施設の数 合計 32 施設(前年度 35 施設)

北海道 (2)	ピュアフィールド風曜日、うねうね畑とくもの月
東北方面 (2)	湖畔のホテルクオレ、かんぼの宿郡山
常磐・関越方面 (10)	いこいの村潤沼、かんぼの宿／大洗・塩原、冬桜の宿神泉、ガストホフエール、湯沢ニューオータニ、ホテルエフ、ニューグリーンピア津南、まついだ森の家、休暇村奥武蔵
房総方面 (3)	かんぼの宿／勝浦・鴨川・旭
中央線・信州方面 (7)	かんぼの宿／青梅・石和・諏訪、富士レークホテル、ペンション山ぼうし、ペンションさゆ〜る、旅館はくら
伊豆・箱根方面 (4)	すばる、箱根高原ホテル、ペンションひゅっかり、ウェルカムインサニーステップ
東海方面 (2)	かんぼの宿／浜名湖三ヶ日・知多美浜
関西方面 (2)	ホテルビナリオ嵯峨嵐山、神戸ポートピアホテル

(3) 第39回「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル

昭和56年に開催した「国際障害者年ふれあいフェスティバル」を契機にして、障害者を取り巻く問題について、都民の理解と認識を深めることを目的に、毎年開催している。

主 催：東京都、日本チャリティ協会

後 援：厚生労働省

期 日：令和元年12月9日（月）

時 間：午後1時15分から午後3時15分まで

場 所：日暮里サニーホール

内 容：第一部 記念式典

- ▶表彰：障害者福祉関係知事表彰
自立支援功労者 受賞者2名
- ▶記念品贈呈：小池百合子 東京都知事

第二部 ふれあいステージ

- ▶三遊亭好楽による落語会、林家こん平・笠井咲によるトークショー
- ▶大前光市らパラダンス・クリエイターズのダンスパフォーマンス
- ▶東京都立大塚ろう学校の4年生による器楽演奏

参加者： 300名（前年度320名）*会場の制約から前年比で人数を制限

(4) 第36回障害者のためのふれあいコンサート

障害者やその家族などを対象に、オーケストラの演奏によるクラシック音楽等を鑑賞する機会を提供することによって、障害者の積極的な社会参加を促進し、豊かで生きがいのある暮らしを実現することを目的として、毎年開催している。

令和元年度は、新型コロナウイルス感染症対策に関連し、東京都の大規模イベント自粛の方針により開催中止となる。

主 催：東京都、日本チャリティ協会、東京都交響楽団

期 日：令和2年2月29日（土）

時 間：午後2時から午後4時まで

場 所：新宿文化センター大ホール

内 容：第一部 1800人で童謡を歌おう 大森貴子と杉の子合唱団

(5) 第34期パラアートスクール（障害者のカルチャースクール）

障害者の自立と社会参加への支援及び障害者が持つ芸術文化に関する潜在的能力の開発を目的に、各界の著名な作家を講師として招聘し実施した。また、豊島区の「としまアート教室」について、運営を受託した。

主 催：日本チャリティ協会

期 日：平成31年4月から令和2年3月まで（実技指導 年18回）

場 所：東京都障害者福祉会館

内 容：全4コース／マンガ・イラスト、一般絵画 A・B、書道

講 師：横川永鷺、石渡鷺遊、白木ゆり、田部井月四、堀吉光、板倉知恵、八木道夫、タナカミノル

○開講式

期 日：平成31年4月7日（日）

時 間：午前10時30分から午前11時30分まで

場 所：東京都障害者福祉会館

内 容：主催者挨拶（日本チャリティ協会会長）

講師紹介及び委嘱状交付

受講者：

コース	第34期	第33期	第32期
マンガ・イラスト	9名	12名	12名
一般絵画 A	16名	16名	16名
一般絵画 B	22名	21名	23名
書道	17名	15名	13名
合 計	64名	64名	64名

○修了式

新型コロナウイルス感染拡大により3月15日（日）に予定していた終了式、およびパラアートスクール作品展は取りやめとし、各受講者には修了証を郵送した。

コース	第 34 期	第 33 期	第 32 期
マンガ・イラスト	8 名	11 名	12 名
一般絵画 A	14 名	15 名	16 名
一般絵画 B	20 名	20 名	20 名
書道	16 名	14 名	12 名
合 計	58 名	60 名	60 名

皆勤賞授与：計 20 名（昨年 18 名）

○豊島区「としまアート教室」の運営

期 日：令和元年 8 月から令和 2 年 2 月まで

内 容：豊島区障害者施設を利用した連続講座（10 回）に講師を派遣。15 名の受講者が各自で決めたテーマに沿って制作、作品は豊島区主催の第 13 回美術展「ときめき創造展」（令和 2 年 3 月）に出品予定であったがコロナウイルス感染拡大により展覧会は中止となった。

（6）パラアート国際交流事業

「パラアート」とは、「2009 アジア・パラアート TOKYO」展記念シンポジウムにおいて、障害を持つ作家たちが創作する芸術を象徴するものとして採択され、「身体、精神、知的のあらゆる障害を抱えた人の美術・アート作品及びその活動」を意味している。

当協会は、2020 年 7 月に東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、文化プログラムの一環として「国際障害者美術展（パラアート国際交流展）」を実現することによって、「パラアート」の国際的な周知と、障害者の幅広い活動とその作品への認識を内外に発信することを目標に、これまで 5 回にわたり国際交流事業を企画してきた。今回は、障害者の文化・芸術の拡大を意図して障害者によるパフォーマンスの紹介や児童の作品の充実を計り、「東アジア文化都市 2019 豊島」のパートナーシップ事業として、日・中・韓・中心に「2019 パラアート フェス TOKYO」第 6 回国際交流展を開催した。

① 「2019 パラアートフェス TOKYO」第 6 回国際交流展

*東アジア文化都市豊島パートナーシップ事業

期 日 令和元年 11 月 20 日(水)～24 日(日)

場 所 としまセンタースクエア(豊島区役所本庁舎 1 階)

内 容 日本・中国・韓国を中心とした障害者の「絵画」「書」作品 196 点の展示

絵画作品 日本 52 点 児童 63 点(日本 43 点、外国 20 点)

中国 16 点、韓国 6 点その他外国 24 点

書作品 日本 20 点 中国 7 点、韓国 8 点

来場者 1,374 名

② 韓国パラアート交流事業「2019 韓・中・日・港 障害者 美術交流 10 周年記念展」
2009 年より交流のある中国・韓国の機関との連携事業として韓国の障害者展に参加協力した。

場 所 ソウル 弘益大学 現代美術館
期 日 令和元年 8 月 20 日(木) - 25 日(月)
内 容 障害者の作品 130 点展示の内日本より絵画 18 点書 8 点を展示協力した。
主 催 (社)韓国障害者書芸協会、(社)韓国障害者国際芸術団
海 外 中国障害者雑誌社、日本チャリティ協会、中国ヨンファハ文化グループ
後 援 文化体育観光部、イジンヒョン議員室、韓国障害者文化芸術院他

③「東京都専門学校&デザイン展」との連携事業

協会が推進している「パラアート」の普及、広報活動として専門学校生等に対し「パラアート」の社会的周知と認識拡大を目的に「東京都専門学校&デザイン展」に参加している。

日 時 令和 2 年 2 月 21 日(木)～26 日(火)

場 所 東京都美術館 ロビー館

内 容 [SEBIT×パラアート]連携事業コーナーにおいて、ワークショップの開催、パラアート工房作品、パラアートスクール生徒作品を展示

*SEBIT 東京都内の美術・デザイン系専門学校生が制作した絵画・版画・工芸・写真・イラスト・マンガ・デザイン(平面・立体・デジタル)・ジュエリー・映像・ファッション・インテリア・建築・家具など様々な作品を学校毎に展示する卒業作品展

(7) 明治神宮奉納「第 78 回全日本力士選士権大会」招待事業

相撲力士の取組を観戦する機会に恵まれない障害者を招き、伝統と技の世界を体験させたいとの主催者の意向を受けて、全日本力士選士権大会の招待事業を実施した。

主 催： 明治神宮

協 力： 日本相撲協会、日本チャリティ協会(昭和 56 年第 41 回から協力)

期 日： 令和元年 9 月 30 日(月)

時 間： 午後 12 時 30 分から午後 4 時 20 分まで

場 所： 両国国技館

招待者： 障害者(児)と家族 1,400 名を招待

2 高齢者関係事業

(1) 第21回クプナ・フラ・フェスティバル

中高年者グループによる質の高いフラダンスの発表の場を提供し、中高年者の文化活動の促進と親睦及び健康の維持増進等を図り、明るく元気な高齢社会づくりに寄与することを目的に開催している。

主 催：日本チャリティ協会

後 援：ハワイ州観光局、東京都、全国老人クラブ連合会、東京都老人クラブ連合会

協 賛：日本ハワイアン音楽協会、Hawaiian Fan

協 力：HULA Le`a

企画制作：(株) 公共事業PRセンター

期 日：令和元年6月22日(土) 午後3時から午後8時まで

場 所：中野サンプラザホール

出 演 者：全国フラグループ 16組(前年度19組)
フラグループにハワイ州知事より感謝状を交付贈呈

特別出演：カマカ・クコナ

来 場 数：1,905名(前年度1,969名)

(2) 第24回シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル

高齢者が日頃積み重ねたコーラス活動の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深めることによって高齢者の積極的な社会参加を促進し、より豊かで充実した文化生活の実現と高齢者福祉の増進を図ることを目的にしてシニアコーラスコンクールを開催した。

主 催：日本チャリティ協会 東京都老人クラブ連合会

後 援：厚生労働省 文部科学省 東京都 全国老人クラブ連合会

協 賛：都民共済

協 力：東京都合唱連盟

企画制作：(株) 公共事業PRセンター

期 日：令和2年2月15日(土)

時 間：午前10時から午後7時まで

場 所：東京オペラシティコンサートホール
参 加：36組 820名（前年度 36組 733名）
審 査 員：三枝成彰、安田祥子、岸信介、千住 明、宇佐美瑠璃
来 場 数：1,876名（前年度 2,049名）

（3）高齢者のためのはつらつカラオケコンクール

高齢者が日頃から積み重ねた歌自慢の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深め、生きがいと積極的な社会参加を促し、豊かで充実した文化生活が送ることのできる高齢者福祉の増進を図ることを目的に開催している。

主 催： 各地区老人クラブ連合会他
共 催： 日本チャリティ協会
後 援： 東京都老人クラブ連合会
企画制作：(株)公共事業PRセンター

○第168回大田区大会

期 日：令和元年10月3日（木）
場 所：大田区民ホールアプリコ大ホール
審査員：反畑誠一、満留紀弘、大田区シニアクラブ連合会会長
出場者：67名（前年度 66名）
参加者：1,000名
アトラクション：千葉一夫、水城なつみ

○第169回世田谷区大会

期 日：令和元年11月27日（水）
場 所：烏山区民会館ホール
審査員：瀬川昌久、森 淑
出場者：61名（前年度 70名）
参加者：500名
アトラクション：松川未樹、はやぶさ

II 共催・後援・協力事業

（1）第53回スポーツの集い

第19回東京都障害者スポーツ大会の競技部門の1つとして、在宅及び施設等を利用している重度の知的障害者（児）とその家族や関係者を対象に、スポーツに触れる機会を提供することを目的として開催される「スポーツの集い」において、アトラクションの企画運営に協力した。

主 催：東京都障害者スポーツ協会、東京都、NHK厚生文化事業団
後 援：特別区長会 東京都市長会 東京都町村会 日本チャリティ協会他
期 日：令和元年9月4日（水）
時 間：午前9時から午後4時まで
場 所：武蔵野の森総合スポーツプラザ メインアリーナ
内 容：アトラクションのプロデュースに協力
出演者：拓殖大学麗澤会総務局吹奏楽部
日本女子体育大学ソングリーディング部 GRINS
赤坂ベンチャーズ
司会／新宮隆子
参加者：888名（前年度949名）

（2）第56回東京都老人クラブ芸能大会

各地区老人クラブ（区市町村単位）が健康増進及び会員相互の交流と親睦のために取り組んでいる民謡（新舞踊、フラダンス等の民族舞踊を含む）の祭典の運営に関する助言と審査員の派遣協力を行った。

主 催：東京都老人クラブ連合会
後 援：厚生労働省、東京都、日本チャリティ協会他
期 日：令和元年9月30日（月）
時 間：午前10時から午後4時まで
場 所：文京シビックセンター大ホール
内 容：老人クラブ民謡舞踊コンクールの運営及び観客動員
審査員：田畑秀朗、藤間松三枝、樋口リコ
参加者：1,100名（出場者32組286名）

Ⅲ 東京都福祉サービス第三者評価

高齢者、障害者福祉施設等のサービスを、事業者・利用者いずれにも利害関係のない第三者の立場から、専門的かつ客観的に、サービスの内容や質、マネジメントの力などを評価する事業であり、協会所属の評価者により幅広い福祉サービスの評価を実施、東京都福祉サービス評価推進機構を通じて、利用者への的確な情報を提供している。

評価実施件数：31件（前年度15件）

《福祉サービス分野別内訳》

高齢者福祉サービス分野	10件
障害者（児）サービス分野	15件
児童・生活保護等のサービス分野	0件
利用者調査	6件

評価従事評価者数：28名（協会登録：主たる評価者12名、従たる評価者16名）

Ⅳ 法人の運営

1 理事会・評議員会等

（1）理事会の開催

①令和元年度第1回理事会

期 日：令和元年5月28日（火）

場 所：当協会役員室（会議室）

内 容：

- ア．平成30年度事業報告案について
- イ．平成30年度決算報告案について
- ウ．財産管理運用規定の制定について
- エ．任期満了に伴う理事改選等について
- オ．評議員の退任および選任について
- カ．定時評議員会の開催について

協議報告案件

- ア．パラアート関連事業報告 他

②令和元年度第2回理事会

期 日：令和元年6月19日（水）

場 所：決議省略による書面理事会

内 容：

- ア．会長、副会長、常務理事の選定について

③令和元年度第3回理事会

期 日：令和元年8月1日（木）

場 所：決議省略による書面理事会

内 容：

議事案件

ア．役職者の職務権限規定設定について

イ．常務理事の報酬について

④令和元年度第4回理事会

期 日：令和2年3月30日（月）

場 所：決議省略による書面理事会

内 容：

議事案件

ア．令和2年度事業計画について

イ．令和2年度事業予算について

協議報告案件

ア．新年度の理事会の日程について

イ．協会の業務執行状況について

(2) 評議員会

①定時評議員会

期 日：令和元年5月28日（火）

場 所：当協会役員室（会議室）

内 容：

ア．平成30年度事業報告案について

イ．平成30年度決算報告案について

ウ．財産管理運用規定の制定について

エ．任期満了に伴う理事改選等について

オ．評議員の退任及び選任について

協議報告案件

ア．内閣府立入検査報告について

イ．令和元年度事業計画及び収支予算について

ウ．パラアート関連事業報告について

(3) 監事監査の実施

期 日：令和元年5月16日（木）

場 所：チャリティ協会役員室（会議室）

内 容：平成30年度決算審査について

2 後援会等（通年）

協会の活動を支える後援会等の充実を図り、障害者・高齢者ならびに福祉関

係者やボランティアを音楽、芸能スポーツ等の催物に招待、会員の拡充につなげた。

(1) 「クォーターリーニュース」の発行 各号2,000部

区分	報 告	特 集
2019-Vol.106	会長.副会長年頭挨拶 パラアートスクール作品 展&パラフォト展等	第38回ふれあいフェスティバル
2020-Vol.107	会長.副会長年頭挨拶	パラアートフェス TOKYO 第6回国際交流展 第34回東京都障害者総合美術展

- (2) 後援会会員 159名 (令和2年3月31日現在数)
賛助会員 68名 (令和2年3月31日現在数)

(3) ボランティアの協力支援 (通年)

本協会が事業を推進していく上において、ボランティアの協力は欠かせないものとなっており、その組織化を図っている。

主な分類：協会のイベント参加者並びに企業OB、シニアボランティアクラブ、自薦の有志

参加事業：障害者総合美術展、パラアート展、ふれあいコンサート、ふれあいフェスティバル、シニアコーラスフェスティバル、クプナ・フラ・フェスティバルなどの各種イベントの受付、会場整理、アンケート調査などの発送、パソコン入力、ビデオ・写真撮影 等